



# AICJ NEWSLETTER

2023  
July

AICJ中学・高等学校 〒731-0138 広島市安佐南区祇園3丁目1-15 TEL:082-832-5037

本校は、2009年に西日本第1号の国際バカロレア（IB）DP認定を受けた一条校で、生徒はグローバル社会のリーダーを目指し、学内外で様々な活動に取り組みます。

## インターハイ(高校総体)★女子サッカー 広島県予選会3連覇

### 《広島県予選》 3連覇

1回戦：AICJ 18 vs 0 山陽女学園

準決勝：AICJ 2 vs 0 山陽

決勝：AICJ 1 vs 0 広島文教

### 《中国地域予選》

準決勝：AICJ 1 vs 0 高川学園

決勝：AICJ 0 vs 0 作陽学園  
(PK 3 vs 4)



写真は全て広島県予選会の様子



高校女子サッカー部は、県予選3連覇で中国地域予選(山口県開催)へとコマを進めました。決勝は昨年同様岡山作陽学園との対戦となりました。熱戦は延長でも決着がつかず、PK戦までもつれましたが、惜敗となりました。次は冬の選手権大会です。引き続き応援宜しくお願いします。

## 広島市長訪問★ピースイベント★「ONE DREAM」の活動報告



活動報告する高3明石さん



”ピースイベント「ONE DREAM」”に参加した生徒たちが広島市役所を訪問し、松井市長に活動成果を報告しました。「考えること」だけでなく「行動すること」の重要性を学ぶ機会となりました。来年度も活動を続けていきます。



## G7ジュニアサミットにAICJ生2名が参加★平和を発信

広島県内の12名の日本人の中に、本校から2名の生徒が参加しました。この会議は各国の首脳が、サミットで話し合う平和や持続可能性など地球規模の課題について若者たちも議論し、課題解決への理解を深めてもらおうと、広島サミット県民会議が開いたものです。参加者はいずれも高校生で、県内に住む12人と日本に住むG7各国の12人のあわせて24人でした。



本校から参加した高3の清水さん(右)と土井くん



### 《参加した高3土井瞭くんのコメント》

会議を通じて、課題解決にはどういったものかどのような難しさがあるのかということや、課題に取り組む上でどのような視点が重要なのかといった基本的な内容を多く理解でき、また、自分の社会への理解不足、包括的な政策の提言など多くの課題を明確にすることができました。心に残る体験をさせていただいたと思います。こういった機会を用意してくださった関係者の方々に感謝いたします。ありがとうございます。



ディスカッションの様子

### 《参加した高3清水野乃子さんのコメント》

本当に参加できて光栄な会議でした。現在までの国際社会について理解を深め、未来を変えるための実りある議論ができました。様々な背景を持った仲間と関わり、考えたこともないところまで視野を広げられました。同時にあるべき社会への道程は短くないと実感しましたが、経験を活かしてこれからも行動を起こしていきます。



修了証を手に記念撮影

# IBディプロマ Group4 Project ★ デイベート・スピーチDay

Group4 Projectは、Physics, Biology, Chemistry, ESS を越えて学際的なアプローチをしていくIBの必須プロジェクトです。科学または技術のトピックについて、協働し分野を超えて概念や認識を共有します。



中学生は、毎年度末に1年間の英語学習の集大成として、学年ごとに、英語を使用した活動を披露する場を設けています。



特定の国を選んでリサーチし、日本と比較をしながらプレゼンを行う中2



理科(物・化・生・地)にまつわる様々なテーマについてプレゼンする中3

## 晴天の下☀️各学年遠足に出かけて互いの親睦を深めました

国営備北丘陵公園 (中1)

広島市安佐動物公園 (中2)



宮島水族館みやじマリン (中3)

2019年の遠足以来、いつもの遠足の形が戻ってきました。学年によっては現地のグルメ巡りも楽しみました。



福山みろくの里 (高2)



尾道散策 (高1)



しまね海洋館アクアス (高3)

## 優勝・準優勝独占! World Scholar's Cup(WSC)九州ラウンド

チームの主張を準備する時間は15分間で意見や調査をまとめるにはとても短く、毎回膨大な集中力が必要です。主張をサポートするための十分な根拠を用意できないまま本番に挑まなければならないこともあり、個々の即興力も試される場面もあるようです。

《WSCとは》



世界中の中高生が総合的な教養を競い合うアカデミックな大会です。2006年に韓国で始まり、以降世界各国で50以上の国内大会が開かれ、現在では世界中で2万人近い学生が参加しています。大会は3人1組で1チーム、使用言語は英語のみです。科目数は6教科に及び、年初めに発表される各科目のスタディーガイドに基づいて、各自がリサーチをし、ディベート・エッセイ・ペーパーテスト・クイズの4種目の総得点を競います。各国で行われ国内大会を勝ち越したチームは世界大会の参加資格を得ることができ、そこで上位に入ったチームは毎年11月にイェール大学で行われる決勝大会に参加することができます。



会場での様子



大会キャラクターのアルパカぬいぐるみ



優勝・準優勝の2チーム6名

参加者が特技を披露する「タレントショー」もあり楽器演奏やダンスなど、沢山のユニークなステージでショーは盛り上がり、大会の緊張感から離れて、リラックスできるひとときが楽しいそうです。

## 海外語学研修inオーストラリア から6名が帰国しました

アデレード空港で皆揃って



現地では、卒業生の浅沼君にもお世話になりました。

現地校では多くの友達ができました。